

## 令和6年度 第2回久御山町上下水道事業経営審議会 議事要旨

日 時	令和6年5月27日（月） 10:00～11:50
場 所	久御山町議会棟4階 特別会議室
次 第	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 (1) 令和6年度第1回会議の概要 (2) 料金改定（案）について (3) 今後のスケジュールについて 4 閉会
出席者	（委員） 西垣会長、伊藤副会長、松若委員、曾和委員、水野委員、寺井委員、久保田委員、大日方委員 （事務局） 高山事業環境部長、吉田上下水道課長、阪田上下水道課担当課長、奥田課長補佐、岩上課長補佐

### 会議

#### 1 開会

- ※ 会議成立の報告
- ※ 関係人の出席の確認
- ※ 配布資料の確認

#### 2 会長挨拶

- ・5月も終わりになり、もう既に夏を思わせるような日が続き、梅雨は近いのかなと思うような季節になってきた。感染症の影響も薄れ、修学旅行生や海外のインバウンドの人が多く、稲荷山の散歩コースの新緑が気持ち良かった。
- ・本審議会も料金改定が佳境にさしかかってきた。今回は、各区分ごとに料金シミュレーションをしていただいている。料金改定は、大変大事な議題なので、よろしくご審議にご協力をお願いしたい。

#### 3 議事

- (1) 令和6年度第1回会議の概要
  - －事務局説明－
- (2) 料金改定（案）について
  - －事務局説明－

### 会長

- ・前回の議論を踏まえ、基本案に加えて4つのパターンでシミュレーションをしていた

だいた。

#### 委員

- ・令和2年料金改定時に小口需要家から大口の方に負担をシフトしているが、今回の料金改定時に、算定要領に基づく形に戻していくのか、どういうペース、割合で戻していくのかが一つの判断になる。
- ・令和2年料金改定時に小口の負担を少し和らげられたという時に、どのような議論をされたのか。その後、住民の反応はどうだったのか。
- ・多分コロナの関係等で、経済的に小口の方の負担を和らげたと推測するが、その時の課題がどの程度解決されてるのか、町の評価は。

#### 事務局

- ・前回の料金改定では、用途別から口径別に大きく料金体系を変換している。
- ・算定要領通りだと、小口使用者の負担が大きく、経営審議会の前身である水道事業検討委員会の中で、口径20mm以下の、月に20m<sup>3</sup>使用というモデルケースの改定率を平均程度に抑えてというご議論があった。
- ・その結果、大口の境目となっている口径40mmの使用者の基本料金が割と高く出てしまった。40mmでも使用水量が少ない使用者さんから、改定率がかなり大幅に高くなったということでご意見を頂戴した部分はある。
- ・小口径については、改定率を低く抑えられたこともあって、大きなハレーションはなかった。

#### 委員

- ・前回の改定時は、口径別にすることで、住民の方に痛みを多めに持ってもらって、工場等の方に配慮した。住民の実感としては、泣いたという記憶がある。

#### 事務局

- ・用途別から口径別に変える時に、計算通りだとドラスティックになってしまうので、一定配慮しながら一度に大きな変動にならないようにした。
- ・方向性としては、経営の安定化、負担の公平性というところから、算定要領通りに寄せていきたいという思いを持っている。

#### 会長

- ・前回、料金体系自体を用途別から口径別に移行し、それまで比較的優遇されていた家事用の料金負担が平均より高めになった。
- ・小口径、小利用者の方の負担がどの程度大きくなるか、そこが今回の料金改定のポイントになっている。
- ・口径20mm以下で使用水量10m<sup>3</sup>以下、また、口径25mmで使用水量10m<sup>3</sup>以下の使用者の平均的なイメージはどうか。

#### 事務局

- ・令和5年度の家事用の全世帯の実績では、2か月平均で35~6m<sup>3</sup>程度。口径20mm以下で月10m<sup>3</sup>以下は、単身者が主と思われる。口径25mmは家事用は少なく、事業用が多いと思われる。

#### 会長

- ・高齢者の単身世帯がどの程度あるかどうか、わかるか。

## 事務局

- ・顧客データとして年齢ごとの情報を持っていない。
- ・水道事業の減免制度の対象は約 400 件程度で、そのうち半分以上は一人暮らしの老人世帯であったかと記憶はしている。

## 会長

- ・小口径 20 mm以下で 10 m<sup>3</sup>以下のような家計の負担増は心配だが、高齢者の単身等については一定の福祉的配慮があるということ。
- ・口径 20 mmで 20 m<sup>3</sup>当たりの標準的な家計の負担が、どの程度増えるかということがポイントになる。

## 事務局

- ・令和 5 年度実績では、口径 25 mmで水量 0～20 m<sup>3</sup>が 726 件。延べなので、概ね 6 分の 1 ぐらいが使用者の数ということになる。

## 副会長

- ・改定案 1 から 4 までの間で、経営の安定化という観点ではどれが望ましいか。

## 事務局

- ・改定案 1・2・3・4 の順に経営安定化は図られると考えられる。
- ・検討のポイントは、現行料金からどれぐらい動くのかということと、算定要領と比べてどうなのかということと、近隣市町との比較となる。

## 副会長

- ・高齢の単身者の方への配慮や、使用水量 20 m<sup>3</sup>付近の標準的なご家庭への配慮が必要となる。
- ・改定案 4 は、逡増度が現在よりも低下し、使用水量 20 m<sup>3</sup>のところの改定率が、平均改定率を下回っていて、現実的な案としてあるのかと思う。

## 委員

- ・安定稼働には何円収入がいるのかということ。そこから逆算して、使用者で分けた結果、成立しているという理解でよいか。

## 事務局

- ・水道事業ビジョン（第 2 次）における令和 7 年度～令和 11 年度の総括原価の計算が 29 億円ということになる。
- ・資産維持費や長期前受金の考え方もあるが、今後の更新投資のために一定獲得しなければならない資金もあり、それも含めるともう少し高い料金改定になる。
- ・最低限 5 年間で赤字の年を出さないようにという改定率が 16.9%ということで、水道事業ビジョン（第 2 次）でご審議を賜った結果、16.9%での検討を進めている。

## 委員

- ・多分そうだと思うが、5 年間 29 億円で安定事業なのか。途中で何か変わる事はないのか。

## 事務局

- ・本来的に安定化というと、資産維持費を取って将来の更新に備える必要があるため、もう少し必要額は上がってはくる。
- ・水道事業ビジョン（第 2 次）でご審議賜る中で、最低限のところは 16.9%という理解。

#### 委員

- ・事業者としては、5年先の時期に結果が出るというのは感覚的にはなく、毎年、毎年考えるべきという印象があるが、5年のシミュレーションを盛り込まれた上で、ある程度安定と判断されたと理解した。

#### 会長

- ・収入は多いほど良いが、29億円であれば予測される水道供給量のもとで、将来の更新投資計画も実現できるという値ということ。

#### 委員

- ・この29億円には、更新年約3.5億円掛かる分は含まれているということか。

#### 会長

- ・更新投資計画は、これで実現できる。

#### 事務局

- ・前提として、料金体系というのは5年ごとには見直しを図っていく。バランスを見ながら5年おきに中身を再精査しながら進んでいくが、直近この5年につきまして、16.9%で乗り越えたいということ。

#### 委員

- ・現行料金は近隣市町との比較で、安いか普通レベルだが、この料金改定をすることで、かなり近隣市町より高くなる。ただ近隣市町も料金改定を検討中で、どのタイミングで比較するかとなる。
- ・近隣市町の動向はどうか。

#### 事務局

- ・近隣市町で言えば、この9月か10月（正しくは8月）に23%の料金改定を可決されているところもある。
- ・小口径で少水量で比較すると、近隣市町よりも高くなるが、口径40mmで400m<sup>3</sup>となると当町のほうが安いという傾向になっている。
- ・近隣市町で、どの使用形態でも安価に料金設定がされているところは、一番最初に水道を使うときの分担金が高く、水道料金を抑えている状況があり、一概に比較はしにくい。

#### 委員

- ・改定案1から4において、やはり考えるべきポイントは経営の安定と、あと負担の公平性です。
- ・いかに皆様に納得いただけるものにするかと言う点を重要視したいと思う。

#### 会長

- ・小口径が改定率が高くなる理由は3つあり、他市町は旧来の水道料金体系を使っている、用途別や口径別でも逡増度を下げていない点、新規入居時の分担金が入っている点、下水道使用料込みにするるとだいぶ変わってくる点。
- ・各口径別の基本料金と、従量料金を示すだけではなく、情報開示という観点から、資料2にあるような各口径別・使用料金別の料金が、どの程度変わるかも示すべき。

#### 委員

- ・単身世帯の方や、高齢者の方などのご家庭が、多分今後もどんどん増えていくのでは

ないか。

- ・基本料金は、水道管を引いていただいたときには絶対発生するものなので、そこを今頑張れる人が、頑張らないといけないと思う。
- ・今後は、みなくるタウンやホテルの建設等で、どれぐらい水の需要が見込めるのか、すごく期待したい。

#### 委員

- ・持ち場、立場によって、改定案が大きく変わってくると思う。企業側にとっては改定案1、住民さん側からしたら絶対4という議論になってしまい、どっちつかずになる。
- ・全員が痛み分けするよう、16.9%を全部均一に上げるのはどうか。その場合、住民説明も、企業説明もしやすい。

#### 会長

- ・需要者数が多いところが今少し割引になっているので、そのところに少し負担をたくさんいただくことにより、新しい料金体系に移れる。また、需要者が多いところで料金を改定すると、収入の安定化に繋がる、この2点とせめぎ合いということ。
- ・区分ごとに料金改定率に差があると、様々な意見が出てくる。今日は、方向性を決めていただいて、詳細を決めるまでに移るのが難しいような気がする。
- ・事務局として、今後のスケジュール調整は可能か。

#### 事務局

- ・本日、標準的なものを参考に4パターンを示したが、結論を出すにはまだ早いというご意見もあり、今日いただきました意見等々も踏まえ、再度、詳細なシミュレーションを考えさせていただいて、ご説明の機会をいただければと思う。

#### 委員

- ・今まで一般家庭の方に配慮してたものを、緩やかに事業所や工場の方たちの方の負担を少なくして、住民の方に負担をとという流れが、安定化や均等化に繋がる。
- ・住民負担も平等にするため、今まで配慮してもらっていた分、多少負担が大きくなって仕方ないという流れを感じる。

#### 委員

- ・自治体が破綻してはならないので、存続することが一番大事。その中で、事務局としてはどの案が良いのか。

#### 事務局

- ・事務局としては、バランスが大事であろうかと思う。現行料金からの改定率のバランスや、算定要領から見たバランス、近隣市町の料金体系とのバランス等が複雑に絡み合っている。
- ・本日の審議内容も踏まえてもう少しパターンをお示しし、ご審議いただく必要があると感じている。

#### 委員

- ・この審議会の資料は全部公開されているものか。それから、改めてパブリックコメントが行われるのか。

#### 事務局

- ・この会議は傍聴席も設け、資料も公開している。パブリックコメントは行わず、住民

さん、事業者さんに説明会を実施する。

#### 委員

- ・今回の資料や、答申案、住民説明会資料の中に、ビジョンの中にあるような過去の経緯と今後の見通しを掲載することが望ましい。

#### 事務局

- ・住民説明会、企業説明会では、水道事業ビジョンの内容も含めて、今後の見通しや具体的施策も説明しご理解いただきながら、料金改定についても説明させていただこうと考えている。
- ・答申案についても同様に今後の見通しについて触れる。次回の資料については、内容を検討する。
- ・令和2年料金改定時に、今後10年間の収支計画を見る中で、一度に料金改定をすると40%程度が必要というシミュレーション結果が出た。一度では、大きな改定率になるので、令和2年、令和7年と分けて5年おきに改定をさせていただくということを説明した。
- ・今後についても当然ながら、一度に高い料金改定をお願いするようなことにならないよう、5年おきに料金体系というのは見直していく必要があるかと思う。

#### 会長

- ・料金の配賦に当たっては、安定性と料金改定の幅の公平感、その二つについて再度検討し、シミュレーションを出していただきたい。

#### (3) 今後のスケジュールについて

－事務局説明－

#### 会長

- ・少し予定を変更して、しっかりご議論いただいた方が良いと思うので、次回も引き続きよろしく願います。

#### 4 閉会

※ 閉会の挨拶

#### 事務局

- ・前回いただいたご意見を基に、今回改定案を4つお示しましたが、もう少し配慮や検討することがあるのご意見いただいた。
- ・再度、安定感や公平感のところも検討し資料を作って、次回ご審議いただきたい。
- ・6月5日に、西垣会長、水野委員にご出席いただきシンポジウムを開催するので、たくさんの方にご参加いただきたい。

【散会】

以 上